



**平和のための AI 倫理：
ローマからの呼びかけにコミットする世界の宗教
日本、広島-2024 年 7 月 9 日-10 日**

2024 年 7 月 9 日・10 日、歴史上重要となる諸宗教によるイベントが日本の広島で開催されます。「平和のための AI 倫理：ローマからの呼びかけにコミットする世界の宗教」と題されたこのイベントは、破壊的技術がもたらす結果と平和への永続的な追求を象徴する広島という場所で開催されることに深い意義を持っています。この象徴的な場所で、世界の主要な宗教の指導者たちが集まり、「AI 倫理のためのローマからの呼びかけ」に署名します。これは、人工知能(AI)の開発を倫理的な原則に基づいて導くことが、人類の善のために重要であることを強調するものです。

本イベントは、教皇庁生命アカデミー、世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)日本委員会、アラブ首長国連邦のアブダビ平和フォーラム、およびイスラエル諸宗教関係首席ラビ委員会によって共催されます。

背景

人工知能のアルゴレシックス(アルゴリズムにおける倫理)を促進するため、教皇庁生命アカデミーは「AI 倫理のためのローマからの呼びかけ」を発表し、RenAIssance 財団と共にこれを推進しています。

2020 年 2 月 28 日、教皇庁生命アカデミーは、マイクロソフト、IBM、国連食糧農業機関(FAO)、イタリア政府とともに、EU 議会議長出席のもと、ローマでこの「AI 倫理のためのローマからの呼びかけ」に署名しました。

この文書は、人工知能に対する倫理的なアプローチを育成し、組織、政府、多国籍テクノロジー企業・機関の間で責任を促進することであり、デジタル革新と技術進歩が、人間の尊厳を維持・尊重しながら人間の才能と創造性に役立ち、単なる高利益や人間の段階的な代替を目指さない未来を形成することを目的としています。

2023年に三つのアブラハムの宗教(キリスト教、イスラーム、ユダヤ教)の指導者が平和的共存と共通の価値観に基づいて「AI倫理のためのローマからの呼びかけ」に署名しました。それに続く広島での本イベントは、AI倫理のような重要な課題に取り組む上で、諸宗教によるアプローチが進むべき道であるという考えを強調します。

宗教は、個々の人間の尊厳を守り、私たちの共通の家である地球を保護しながら、発展を促進する世界を形成する上で重要な役割を果たします。AI倫理の発展を呼びかけるために集まることは、すべての宗教伝統が踏み出さなければならない一歩です。

プログラム

本イベントは、教皇庁生命アカデミー、世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)日本委員会、アブダビ平和フォーラム、およびイスラエル諸宗教関係首席ラビ委員会の共催で、2日間にわたって開催されます。

2024年7月9日、広島国際会議場にて、戸松義晴師(世界宗教者平和会議[WCRP/RfP]理事長)、ヴィンセンツォ・パリア大司教(教皇庁生命アカデミー会長)、シェイク・アブドラ・ビン・バイヤ師(アブダビ平和フォーラム会長兼アラブ首長国連邦ファトワ評議会議長)、ラビ・イライザ・シンチャ・ワイズ(イスラエル諸宗教関係首席ラビ委員会委員)のスピーチから始まります。その後、パオロ・ベナンティ神父(教皇庁立グレゴリアン大学技術倫理学教授)が、「生成AIに関する広島補足文書」を発表します。この文書は、「AI倫理のためのローマからの呼びかけ」の重要な部分となるものです。

初日は以下の3つのセッションが行われる予定です。

まず、科学的視点に焦点を当てたセッションでは、人工知能のリスクと可能性について議論します。リサ・シャーク教授(リチャード・G・スターマン、ノートルダム大学クロック国際平和研究所平和実践学主任教授)、レミー・ワースハイマー博士教授(ハーバード大学のブロード研究所とマサチューセッツ工科大学[MIT]、イエシーバー大学学術委員会委員)、マリオ・ラゼッティ教授(トリノ工科大学CENTAI研究所理論物理学名誉教授)が、彼らの研究結果と見解を発表します。

次に、技術的視点に焦点を当てたセッションでは、倫理的な人工知能の実践的な活用について議論します。ブラッド・スミス氏(マイクロソフト社長)、ダリオ・ギル氏(IBM シニア・バイス・プレジデント兼リサーチ・ディレクター)、およびデイヴ・ウェスト氏(Cisco シニア・バイス・プレジデント兼アジア太平洋・日本・中国地域プレジデント)が登壇します。

最後に、人工知能の運用について議論をするセッションでは、アマンディーブ・シン・ギル氏(国連事務総長技術特使)、ヒメナ・ソフィア・ヴィヴェロス・アルバレス氏(国連事務総長のAIに関するハイレベル諮問機関委員、メキシコ最高裁判所ロレッタ・オルティス判事首席補佐官兼法律顧問長)、日比絵里子氏(国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所所長)が参加します。

これらの専門的なセッションのあと、ラッセル・ルック博士(グッド・フェイス・パートナーシップ)の進行で、世界のさまざまな宗教からの専門家によるオープンセッションが行われます。

2日目の7月10日は、平和記念公園において、各宗教の指導者たちによる「AI倫理のためのローマからの呼びかけ」への署名式が開催されます。

まず広島国際会議場「ダリア」において、被爆者証言を聞いた後、広島平和記念公園まで移動し、慰霊碑を参拝。犠牲者を悼んで花輪を捧げます。続いて、「平和の灯」、「原爆の子の像」を通り、署名式の会場まで移動します。

エリザベト音楽大学(広島市)のフルートカルテットの演奏によって署名式を開式し、式中、各宗教の代表者1名が短い宣言文を発表します。

補足情報

- ❖ イベント終了時にプレスリリースを発表予定です。
- ❖ ご希望があれば、記者の皆さまはイベントの登壇者に取材をすることもできます。詳しくは、広報担当の三善(takeo.miyoshi@kosei-kai.or.jp)または上野(m.ueno738@kosei-kai.or.jp)までご連絡ください。
- ❖ オンライン視聴をご希望の場合は、以下のリンクからお申込みください。
 - 7月9日(1日目)お申込みは[コチラ](#)
 - 7月10日(2日目:第1部)お申込みは[コチラ](#)(広島国際会議場「ダリア」)
 - 7月10日(2日目:第2部)YouTube 配信視聴は[コチラ](#)(広島平和記念公園)
- ❖ Xのハッシュタグは以下の通りです。#algorithcs #RomeCall #interfaith #Alethics #Peace #AlforPeace #Hiroshima #HiroshimaforPeace
- ❖ 「AI倫理のためのローマからの呼びかけ」の詳細は以下のURLをご参照ください。
<https://www.romecall.org/>

共催団体:



Religions for Peace
Japan